

翔光

(題字は齋藤知事)



肩肘をはらない幸せを、この町で。

〜誰もが心地よく、和やかな食のひととき〜

Bistro cafe nana

猪名川町

猪名川町のシンボルでもあるイノシシをモチーフにした、愛らしいロゴが目を引く「Bistro cafe nana」。店名には、誰にとっても覚えやすく、親しみやすい存在でありたいという代表の想いが込められている。敷居が高いと感じられがちなフレンチを、カジュアルなスタイルで提供。猪名川の地で長く愛される店を目指し、地域に寄り添う新たな食の拠点のこだわりを迫る。(詳細はP4)



へ 牛ほほ肉の赤ワイン煮込み

CONTENTS

- 02 新規採用職員紹介／通常総会
- 03 包括連携協定式／地域経済分析研究会
- 04-05 あなたのまちの元気な企業・猪名川町商工会情報

- 06 県青連・県女連・県壮青年部総会等
- 07 商工会連携
- 08 CCコラム・CC研修



新規採用職員紹介

New staff



稲美町商工会 かわらい たいが 瓦井 大雅

この度、稲美町商工会に配属となりました。前職では物流企業でエンジニアをしておりました。異業種での挑戦となりますが、これまでの経験を活かし地域の発展に貢献できるよう励みます。まずは一日でも早く戦力となれるように努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



加東市商工会 ばん ば こうへい 番場 耕平

6月1日より加東市商工会に配属となりました。大学卒業後、産業機械のメーカーならびに商社にて主に法人営業の仕事に従事して参りました。出身は長野県になりますが、前職での転勤をきっかけに移住することとなった兵庫県が大好きです。今後地域や皆さまのお役に立てるように努めて参りますので、何卒宜しくお願いいたします。



南あわじ市商工会 しらもち ゆみこ 白桃 由美子

この度、6月より南あわじ市商工会に配属となりました。商工会の業務を一日でも早く覚え、地域の皆様に信頼していただける職員を目指すとともに、生まれ育った地元・淡路島の発展に貢献できるよう日々尽力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



豊岡市商工会 まえだ えいすけ 前田 英亮

6月より豊岡市商工会に配属となりました。業務や地域について不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、地域の方々に寄り添い、関係する方々としっかりとコミュニケーションを取り、皆様から頼られる職員になれるよう努力してまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。



養父市商工会 こやま さとみ 小山 沙登美

この度、ご縁があり6月より養父市商工会に配属となりました。生まれ育った養父市をはじめ、兵庫県内の地域の発展に少しでも貢献できるよう、一つひとつ経験を積みながら日々精一杯努めてまいります。至らない点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



第1回 理事会・第65回 通常総会の開催

5月27日、ホテル北野プラザ六甲荘において、第65回通常総会を開催した。総会に提出した議案は次のとおり。両議案は、原案どおり可決承認された。

第1号議案 令和7年度事業報告及び収支決算承認について

第2号議案 令和7年度特別会計収支決算承認について

当日は、来賓として齋藤知事、山口県議会議長、近畿経済産業局の近藤中小企業課長やほかの方々のご臨席され祝辞を述べられた。

なお、通常総会に先立ち、「ひょうごグローバル人材活躍企業認定制度について」をテーマに、(公財)兵庫県勤労福祉協会 竹岡企画管理部参与から外国人が安心して就職し定着できるよう、働く環境が整った企業を認定する同制度の説明があった。また、

第1回理事会も開催し、委員会への諮問事項及び専門委員会への付託事項について審議した他、通常総会提出議案など4議案を審議、いずれも原案どおり承認された。

兵庫県商工会連 兵庫県商工会連



△ 齋藤知事



△ 山口議長

兵 姫 播 日 西 中 但 但 神 淡 尼
庫 路 州 新 兵 兵 陽 馬 戸 路 崎
信 信 信 信 庫 庫 信 信 信 信 信
用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用
金 金 金 金 金 金 金 金 金 金 金
庫 庫 庫 庫 庫 庫 庫 庫 庫 庫 庫
(アイフエオ順)

「しんきんキャッシュカード」を利用すれば、全国にある信用金庫ATMでの入出金手数料が無料です。出先で、旅先でご利用下さい。(但し、土日・祝日・所定時間外等及び一部のATMは除きます)

私たちは、兵庫県の皆さまとともに歩んでいく、地域金融機関です。

“けんしん”は 経営者の皆さまを応援します

イベントキャラクター「ホッピー」 ■詳しくは窓口へおたずねください。

いまでも これからも いつまでも
兵庫県信用組合
けんしん

〒650-0023 神戸市中央区栄町通 3-4-17
TEL 078-391-6315
<https://www.hyogokenshin.co.jp/>

神戸学院大学と包括連携協定を締結 — 地域経済の活性化と人材育成へ

4月6日、県連合会は神戸学院大学と地域経済の活性化を目的とした包括連携協定を締結した。同大ポートアイランド第1キャンパスで行われた締結式には、藤井信孝会長と同大の備酒伸彦学長が出席。兵庫の新たな価値創造に向け、相互に協力していくことを誓い合った。

県連合会が掲げる「令和8年度兵庫県商工会プラン実施計画」において、人材確保は最重要課題の一つである。県内出身者が多い、同大の学生と地域企業を結ぶ本協定の意義は極めて大きい。

具体的取組の柱として、本年8月より「実践型インターンシップ」を開始する。商工会の業務を通じて経

営支援の最前線を体験するほか、若者の視点で地域課題を解決するプログラムを予定している。本協定を機に、学生には中小企業の魅力を再発見する機会を提供し、会員企業にとって「実利」のある産学連携体制を一層強化していく。



△ 包括連携協定式関係者一同



△ 神戸学院大学学長 備酒伸彦氏(左)、藤井会長(右)

兵庫県立大学との連携がスタート

第1回 地域経済分析研究会

4月16日、兵庫県商工会連合会において、第1回地域経済分析研究会を開催した。

本研究会は、昨年12月11日の兵庫県立大学ソーシャルデータサイエンス研究所との連携協定締結を契機に始まった。

今回の研究会は、「令和8年度兵庫県商工会プラン実施計画」に沿って、地域経済データのシミュレーションや、地域活力増進事業、地域経済再生支援事業を活用した地域イベント等の経済波及効果の簡易推計手法の開発に取り組むための意見交換の場となった。

兵庫県立大学ソーシャルデータサイエンス研究所の芦谷特任教授をお迎えし、芦谷教授がこれまでに取り組まれた「はばたんPAY+の経済波及効果推計」や「東播磨地域経済指標の推計」をもとに、今後の取り組みについて議論を交わしま

した。

その他に、今年の秋に共催予定の「AIデータサイエンスセミナー」の開催方法・内容について具体的な検討を行った。



△ 地域経済分析研究会の様子

中小企業の皆様を バックアップ!

兵庫県神戸市中央区花隈町6番19号
兵庫県商工連協同組合

信用保証で、このまちの
中小企業・小規模事業者を応援します

兵庫県信用保証協会
CREDIT GUARANTEE CORPORATION OF HYOGO-PREF.

〒651-0195 兵庫県神戸市中央区花隈町6番2-1
TEL: 078-393-3900
当協会のHPはこちらから

あなたのまちの
元気な企業 ✨

「理想の店」を追い求め、一人三脚で歩んだ創業の道へ

北新地で磨いた技を、縁ある猪名川の地で。

Bistro cafe nana

猪名川町

令和8年4月、猪名川町に新たな食の拠点「Bistro cafe nana」が誕生しました。代表の辻迫望未氏（西宮市出身）は、大阪・北新地の名店でシェフとして腕を振っていた実力派。そこで共に働いていたパートナーの谷本氏と出会い、「いつか自分たちの店を持ちたい」という共通の夢を育んできました。

く
ふぐのソテー白ワインソース



く
クレームブリュレ

「承継」ではなく 「理想の地での創業」を選択

辻迫氏の確かな腕前は、当時のオーナーから事業承継の打診を受けるほど厚い信頼を得ていました。しかし、「北新地で培った技を活かしつつ、地域に寄り添いながら心安らく時間を届けられる、自分たちの理想の店を作りたい」という強い願いから、その申し出を丁寧に断り、独立の道を選びました。

開業の地を選んだのは、谷本氏の出身地である猪名川町。谷本氏の家族が所有していた建物を活用し、開業費用を抑えるために内装の一部を自分たちでDIYするなど、手作りで温かみのある空間を作り上げました。



く
自らDIYした内装

Wワークの苦勞を乗り越え、 こだわりの食材を届ける

当初は令和7年秋の開店を計画していましたが、

辻迫氏も谷本氏も当時はWワークを続けながらの準備。多忙な日々の中で、納得のいく店づくりと仕入れルートの開拓を優先した結果、満を持してこの春のオープンを迎えました。

特にこだわっているのは、北新地仕込みの技術で調理する地元の食材です。野菜は猪名川の契約農家から直接仕入れる新鮮な地場産品を主役にし、一皿ごとに地域の魅力を詰め込んでいます。



く
猪名川町の野菜を使った
菊芋スープとサラダ

商工会との歩み： 担当者を驚かせた「攻め」の計画書

創業の大きな力となったのは、谷本氏が令和7年5月に受講した「いながわ創業支援セミナー（創業塾）」でした。その後、商工会での個別指導が始まりましたが、担当の小畑経営指導員は、辻迫氏が作成した創業計画書を見て目を見張りました。「初めて書いたとは思えないほどの完成度」だったのです。

一方で、小畑氏は「この技術があれば、もっと成長できるはず」と分析。あえて堅実すぎる成長予測に対し、より高い目標を掲げるための「攻め」の支援を実施しました。資金調達から補助金申請、プレスリリースまで、商工会の伴走によって、二人の夢はより強固な事業へと進化しました。

今後の展望：出店を待ち望まれる店へ

現在は一組ずつ丁寧におもてなしするため、完全予約制（3日前まで、前日は要相談）をとっています。「将来は、他所からも『ぜひうちの街に出店してほしい』と声がかかるような、地域に愛され必要とされる店にしたい」と語る辻迫氏。北新地の技と猪名川の恵みが織りなす新しい物語は、まだ始まったばかりです。



く
季節を感じる自慢の庭園

取材先
概要

事業所名 Bistro cafe nana
代表者 辻迫 望未
住 所 兵庫県川辺郡猪名川町上野字町廻18-2
TEL 070-5042-6422

業 種 飲食業（ビストロ・カフェ）
創 業 令和8年4月
備 考 完全予約制（3日前まで。前日の場合はお問い合わせください）

猪名川町商工会

商工会概要



会長 住野 敦浩
猪名川顔料株式会社

猪名川町商工会は、昭和37年10月に会員200名で発足し、地域総合経済団体として事業を展開した結果、現在は会員430名を超えるまで発展してまいりました。

猪名川町は、阪神地域の東北部に位置し、面積約90km²のうち、約80%が緑豊かな山々で、ほとんどが県立猪名川渓谷自然公園に指定されており、その中央を清流猪名川が流れ、この川を囲むように田園風景が広がっています。また、南部地域を中心に阪神間のベッドタウンとして大規模住宅地が整備されています。

この大規模住宅地については、開発から50年が経過し、住民の高齢化や都市部への人口の流出、また、農村部における過疎化が顕著であり、地域の活性化や地域における魅力の創出が喫緊の課題となっています。

当会では、特に小規模事業者の経営支援に力を注いでおり、「早期発見・早期対策」を実現する伴走型支援を深化させ、計画策定から実行支援、フォローまで一貫した支援を提供し、地域課題をビジネスチャンスに変える取り組みを推進しています。

さらに、過去から人口規模に比べ要望が多い創業支援については、各種研修会・セミナーを開催し、一社でも多くの創業の実現を図ることで、地域経済の持続的発展に寄与しているところです。

一方、地域活性化としては、町内の農家や会員事業所の協力を得て、さつまいもを活用した期間限定メニューを開発し、販売キャンペーン「おいも de いなさんぽ」を展開し、地域の魅力発信と販路開拓を推進しています。

地域情報

地域活力増進事業

令和7年度に町産さつまいもを活用した地域活性化事業を実施し、地元事業者と連携した新商品開発や販路拡大、地域資源のPRに取り組みました。飲食店や事業者による地域産品を活かした商品展開に加え、オリジナルパンフレットの制作や情報発信を行うことで、地域の魅力向上や来訪促進につなげ、地域ブランド力の強化に一定の成果を上げました。また、事業を通じて、事業者間の連携や地域資源を活用した取り組みへの機運醸成にもつながりました。

これらの成果を踏まえ、令和8年度は町産いちごを活用した商品開発と地域活性化事業を展開します。収穫シーズン後半に発生する規格外品や未利用いちごを活用し、スイーツや加工品、提供メニュー等の開発を進めることで、地域資源の高付加価値化とフードロス削減を図ります。さらに、道の駅いながわや観光協会、行政など関係機関と連携し、地産地消の推進や交流人口の拡大、観光誘客につなげるとともに、農商工連携の強化や地域ブランド価値の向上を目指します。地域事業者への伴走支援を通じて、持続可能な地域経済の活性化に取り組んでまいります。



創業支援事業

「行きます、聞きます、提案します」を合言葉に、創業を目指す方や創業間もない事業者を対象とした伴走型支援を行っています。創業相談では、経営指導員が事業計画の作成や資金調達、各種手続きなど幅広い相談に対応し、必要に応じて専門家や金融機関など関係機関と連携したサポートを実施します。また、年2回開催している少人数制のいながわ創業支援セミナーでは、経営の基礎知識から実践的な事業計画づくりまで体系的に学ぶことができます。地域に根ざした支援機関として、創業前から創業後まで、事業者の夢の実現と持続的な事業運営を継続的に応援しています。



ビジネス(会員)交流事業

ビジネス交流会を定期的に開催し、多様な業種から多くの事業者にご参加いただきました。当日は、4~5名程度の少人数グループに分かれて交流を行い、落ち着いた雰囲気の中で参加者同士がじっくりと意見交換を行いました。各グループでは活発な情報交換が行われ、「新たなつながりができた」「今後の取引や事業連携につながりそう」といった前向きな声も多く寄せられ、有意義な交流の場となりました。



県青連

第59回 通常総会・第1回 幹部講習会を開催

4月23日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて第59回通常総会を開催。県産業労働部 増澤次長をはじめ、県関係者やひょうご共済理事長などの来賓を迎え、県下101名が参加した。議事に先立ち行った功労者表彰は12名が受賞、部員増強運動では、新規加入者部門は三田市商工会青年部、増加率部門は姫路市商工会青年部が1位を獲得し表彰が行われた。次に、議事の審議に入り、提出された議案は原案どおり承認された。

総会の様子 >



その後、引き続き行われた幹部講習会では、全国商工会青年部連合会 会長 小林信作氏から、「理と利の統合 なぜ貢献し続けるのか?」と題し、自身の経験を踏まえた地域貢献への想いなどについてご講演いただいた。



く
執行部メンバーと
全青連会長 小林氏

県女性連

主張発表大会は駒居氏(香美町)が最優秀賞に輝く

4月27日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて第59回通常総会・第1回幹部講習会を開催した。

県関係者や、全女性連会長、ひょうご共済理事長など多数の来賓をお迎えし、県下109名の部員が参加した。

幹部講習会の主張発表大会では、県内5名の代表が女性部活動や地域振興をテーマに発表を行い、審査の結果、最優秀賞を駒居多佳根氏(香美町)、優秀賞を林和泉氏(淡路市)が受賞された。

最優秀賞の駒居氏は8月に福井県で開催される近畿大会

に兵庫県代表として出場予定である。

講演会では日本マイクロソフト株式会社 プロフェッショナルスキル開発本部 Training Program Manager 河村明子氏を講師に迎え「事業者にとってのAI活用とは」をテーマに、AIが浸透されてきた背景と活用方法について事例に基づき講演いただき、女性部員は興味深く聞き入っていた。

通常総会では第1号議案から第7号議案まで原案通り承認された。



△ 挨拶をする生田会長



△ 最優秀賞を受賞した駒居氏(香美町)



△ 講演会の講師を務めた河村明子氏

壮青年部

第8回 通常総会・第1回 研修会

5月7日、神戸市・ホテル北野プラザ六甲荘において第8回通常総会・第1回研修会を開催した。兵庫県関係者等を来賓に迎え、24名の部員が出席した。通常総会においては、第1号議案から第2号議案まで全て原案通り承認された。

研修会では、丹波市商工会の会員事業所、谷水加工板工業(株) 代表取締役 谷水ゆかり氏を講師に迎え、『ものづくり企業が、地域と人を育てる理由 一女性経営者が実践してきた“続く会社”のつくり方一』をテーマに講演いただいた。経営者がまず自分自身を幸せにすると決め、身近な人(家族や従業員)との人間関係を大切にすることが、結果として企業の成長と地域への貢献に繋がると語った。

今年度も引き続き部員増強、ならびに部員の交流と資質向上を図っていく。



△ 若者や女性が戻りたい地域を作っていきたいと語る谷水氏

企業誘致から広がる地域間交流

養父市は過疎化の進行に歯止めをかけるため、平成18年より廃校となった小学校施設への企業誘致に取り組んでいる。その廃校の1つ、旧西谷小学校に平成20年に進出したのが、日の出ホールディングス株式会社食品カンパニー但馬醸造所（以下、但馬醸造）である。

但馬醸造は、稲美町商工会会長の大西和樹氏が役員を

と職員による稲美町・キング醸造への視察を実施。同年2月には、大西会長、播磨町商工会会長 平崎泰彦氏、稲美町長中山哲郎氏、播磨町長 佐伯謙作氏が但馬醸造を視察し、養父市役所にて養父市長 大林賢一氏と面談するなど、地域間交流の輪は広がっていった。

また、同年11月には、養父市主催で商工会が委託され

大西会長



研修や交流を進めましょう

水のきれいな養父市に注目していただいて本当に感謝です！

世登会長



務め、「日の出みりん」「日の出料理酒」で知られるキング醸造株式会社（以下、キング醸造）の関連企業である。同社は養父市商工会に加入後、市の奨励制度を利用し、地域の特産品を活用した商品開発や、展示会への出展、地域住民との交流会の開催など、地域に根ざした活動を展開してきた。

こうした中、養父市商工会会長の世登道徳氏が、県連合会の会合において大西会長に市行政との連携強化について相談したことがきっかけとなり、令和7年1月に世登会長

ているイベント、『第1回 YABU フード EXPO』にて、地元団体が八鹿豚の豚汁850食を調理するにあたり、みりんを始めとする調味料とレシピ（大鍋調理用）を大西会長の計らいで但馬醸造より特別に提供いただいた。当日は市内外より9,000名の来場があり、養父市の魅力ある「食」を大いにPRする機会となったが、豚汁も人気で完売となった。世登会長は、今後もこうしたブロックを越えた連携を続けていくことで、地域活性化の取組をさらに進めていきたいと語っている。

YABUフードEXPOの様子 >



へ 大林市長との面談



へ 但馬醸造の商品



< 但馬醸造HP

事業所の地震・津波リスクに備える

火災共済

ひょうご共済 地震特約 検索

—ひょうごの中小企業を補償でサポート！—

ひょうご共済
兵庫県共済協同組合

INFO

7月のこよみ

- 14日(火) 青年部主張発表県大会
- 16日(木) 職員向けマル経講習会
- 22日(水) 総務委員会
- 24日(金) 県女性部第2回幹部講習会
- 29日(水) 商工会理事研修会

広域的な連携シリーズ 第2弾 稲美町×養父市



Chief Coordinator

豊岡市商工会

羽尻 幸生
はじり たかき

受け継ぐこと、つないでいくこと

私が商工会に入ったのは平成27年です。前職は旅行会社勤務で、経営支援とはまったく畑違いの世界でした。当然ながら知識も経験もなく、右も左も分らない状態からのスタートでした。

当時は、ちょうど小規模企業振興基本法の施行を契機に、商工会の支援のあり方が大きく変わろうとしていた時期でもありました。先輩職員からは、「これから商工会は大きく変わる」「大変な時代になる」といった話を聞くこともありましたが、以前の商工会を知らない私にとっては、事業者に寄り添い、一緒に考えながら支援していく「伴走型支援」という考え方に違和感はありませんでした。むしろ、それぞれ異なる悩みや課題に向き合いながら、一緒に答えを探していくことこそ、商工会の役割なのだと自然に感じていたように思います。

この仕事を続ける中で、商工会には本当に支援能力の高い職員が多いと感じています。事業者との対話力、制度活用の知識、現場経験に裏打ちされた判断力など、相談対応を見ているだけでも勉強になることばかりで、自分にはまだまだ足りない部分が多いと痛感する毎日です。

一方で、その優れた知識や経験が個人の中に留まり、十分に共有されていないのではないかと感じることもあります。もちろん、それだけ一人ひとりが努力されてきた結果なのですが、商工会は組織です。どれだけ優秀な職員でも、いつかは異動や退職があ

ります。だからこそ、先輩方が培ってこられた知識や支援の姿勢を受け継ぎ、次の世代へつないでいくことが大切だと思います。

昨年よりチーフコーディネーターとなり、県下のチーフコーディネーターの皆さんと交流する機会をいただきました。今年で任期二年目になりますが、その中で改めて感じたことがあります。それは、経験豊富な方ほど現状に満足せず、常に学び続けているということです。

経験を積むほど知識や対応力は身につけていきますが、一方で、慣れからくる思い込みや慢心も生まれやすくなります。だからこそ、常に新しい知識を学び、他者の考え方に触れ、自分自身を見直し続ける姿勢が大切なのだと思います。

また、支援の現場で得た経験やノウハウを、自分一人のものにせず共有していくことも重要です。商工会は組織であり、地域を支える役割は一人では担えません。先輩方から受け継いだ知識や支援の姿勢を、次の世代へ少しずつでもつないでいくことが、組織全体の力につながるのではないのでしょうか。

私自身も、入社当初の何も分からず必死だった頃の気持ちを忘れず、これからも一つひとつの支援に真摯に向き合っていきたいと思います。また、日々の支援の中で得た気づきや経験を積み重ねながら、それを組織の力として共有し、次の世代へとつなげていけるよう、これからも学び続けていきたいと思っています。

第1回 チーフコーディネーター研修連絡会

4月17日、兵庫県商工会連合会において、第1回チーフコーディネーター（以下、CC）研修連絡会を開催した。

今回の研修は、講師に一般社団法人埼玉県商工会議所連合会広域指導員で中小企業診断士でもある黒澤元国氏を迎え、「経営力再構築伴走型支援」をテーマに、その支援手法について講演していただいた。

黒澤氏は、創業、経営革新、経営改善、事業再生、補助金活用支援実績において、全国随一の実績を誇り、経済産業省等が主催する委員会メンバーにも選ばれるほど、その支援実績の豊富さが評価されている。講義では黒澤氏が実際に支援された事例

をもとにしたプロセス・コンサルテーションの実践方法について、解りやすく説明されるため、受講者からも「わかりやすい」や「ここまで対話を重ねるのか」という声が聞かれた。

他にも中小企業診断士で県連合会チーフアドバイザーでもある林直樹氏による物価高騰下における販路開拓支援手法について学び、好評を得た。



△ 黒澤氏の講義の様子

新任職員研修会

4月21日・22日の2日間にわたり、新任職員を対象とした研修会を兵庫県商工会連合会にて開催した。

県連合会 古井事務局長からは、商工会職員としての心構えや業務の基本のほか、コンプライアンス遵守の重要性、ならびに円滑なコミュニケーションにおける「コミュニケーションコスト」の考え方について講義があった。

続いて県連合会チーフアドバイザーの芳田氏から、2日間にわたり、ビジネスマナーや業務の基礎、PDCAサイクル、論理的思考の基本ツールなど、課題解決に必要なスキルについて講義いただくとともに、目標設定や行動計画の作成について指導いただいた。

また、21日の研修会終了後には、職員同士の交流を深める懇親会を実施した。懇親会では、職員同士が積極的に情報交換を行う様子が見られ、有意義な交流の機会となった。

